令和3年度の学校経営

# 「地域とともにある学校づくり」を目指して

土浦市立真鍋小学校長　酒井　宏之

令和3年度がスタートしました。

真鍋小学校は　児童数　803名　通常学級　24　　特別支援学級　11　(4月1日現在)の大規模校で，土浦市内では一番大きな学校です。また，創立144年を迎える歴史と伝統の学校です。真鍋小学校の強みは，地域が協力的，地域との結びつきが深い，というところで，これも土浦市内で一番だと思います。文部科学省では「地域とともにある学校づくり」を推奨しています。正に真鍋小学校はその推進校として，学校運営に取り組んでいくことが，重要な使命だと考えます。

令和3年度は，「地域とともにある学校づくり」を推進しながら，令和3年度は以下のような学校経営に当たります。

《学校経営の方針》

◎　本校の良き伝統の上に成り立ち，職員の総力を結集して時代を見据えた教育の展開を図り，児童・家庭・地域の期待に応えられる学校づくりに努める。

《重点施策》

1　学ぶ意欲を高め，基礎・基本の定着を図りながら，授業の工夫改善に努め，思考・判断・　表現力の向上を目指す。

2　9年間を見通した小中一貫教育の推進を図る。

3　地域との連携を核とした絆づくりを活かした学校経営に努める。

4　感染症予防の方策を工夫し，健康安全の意識を高める。





真鍋小学校の桜は今年も見事な花を咲かせてくれました。残念ながら今年度も感染症予防のために「まなべの桜を楽しむ集い」は行われませんでしたが，真鍋の桜を愛する多くの方々が来校されました。真鍋小学校はこの桜を学校・地域の「核」として，教育を推進していきたいと思います。

令和3年度も保護者・地域の皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。